

## 流れくる

栗山政子

きのふとは違ふ目覚めや桜咲く  
つくづくし摘めば摘むほど空遠し  
老人が老人と会ふ蓬原  
桜蘂すこし冷たき雨と降る  
ゆりの木の花咲き空はすこやかに  
諾も否も大葭切の声の中  
常磐木落葉さらさらと刻の過ぎ  
遠雷や絵具の青が袖に染み  
流れくる雲のあやふや桐の花